

令和6年度 板橋区自立支援協議会 第2回 障がい児部会
意見交換 資料

外国にルーツのある、発達等に気がかり のある子どもとその家族への支援について

令和7年1月17日(金)

14:00～16:00

意見交換のねらい

1. 部会員間で、課題をとおして、好事例や工夫していることなどの情報交換を行う。情報を持ち帰り、**現場での実践に役立てる。**
2. 外国にルーツのある、発達等に気がかかりがある子どもとその家族の課題に対して、**必要と考える支援や仕組み**について意見交換しまとめる。

意見交換の進め方

1 意見交換するテーマを 1 つ決める

あらかじめ質問 1、質問 2 を設定していますが、他のテーマでもかまいません。

2 発表者を決める

司会は部会長、副会長、書記は事務局が行います。

3 意見交換・まとめ

意見交換では、好事例や対応に苦慮した事例を出しながら、必要と考える支援や仕組みを意識してまとめてください。

4 発表

1 グループ5分間× 2 グループ



30分



10分

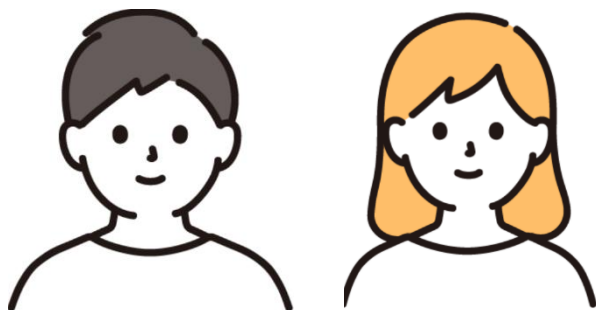
1 事例のプロフィール

Aさん



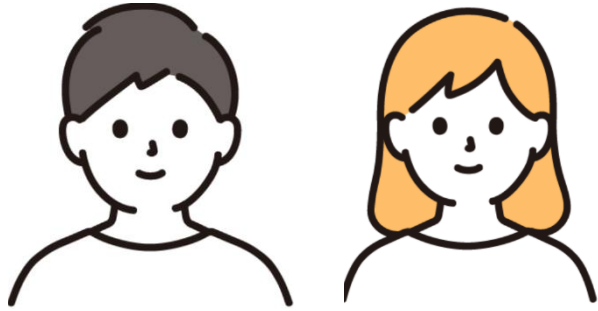
- ・ 現在 4 歳児、1 年前に入国した。
 - ・ 現在の日本語は、数個の単語のみ。
 - ・ 3歳児健診（3歳 6 か月時点）において、言語模倣に乏しい状況や落ち着きのなさが見られ、発達の気かかりを指摘された。心理相談で療育機関の利用を勧められたが、利用していない。
 - ・ 同年代の子どもとの交流の機会はほぼ無く、児童館を1度利用したきりになっている。
 - ・ 保育園への入園が決まっている。
- 【支援機関】 健康福祉センター、保育園

Aさんの父母



- ・ 2年前に入国し、父母、Aさんの3人暮らし。
- ・ 父母は共働きで、母は自営業。
- ・ 父母は日常的に母国語を使用し、外出時は片言の日本語を話す。
(ディスカッション進行の都合により、片言での記載はしていません)
- ・ 3歳児健診では「家では母国語でしゃべっている。」「子どものことで困ることはない」と父母から話があった。
- ・ 「療育、何するところ？ 保育園と違うのですか？」と心理相談員に話している。

2 保育園の勧めで、Aさんは児童発達支援事業所の利用を月4回から開始。その数か月後…。



Aさん父母

保育園と療育は何がちがいますか？

Aは、お家でよく話しますよ。

保育園からは療育は続けたほうが良いと言われたけど、もう大丈夫と思う。

Aさんは集団療育に慣れ始めて、時々ジェスチャーでコミュニケーションしようとしてくれる。

発達課題が見られるため、本当は継続したほうが良いけど…。



児発事業所

質問 1

- ・ 支援者が「療育が必要」「発達課題があること」など、子どもへの支援が必要と思われる時、外国にルーツのある父母の理解が得られやすいようにするためには、どのような仕組みがあればよいと思いますか？
- ・ 工夫した事例や対応に苦慮した事例を出しながら、「このような仕組みがあればよい」「このようなものがあるとよい」などの意見交換をお願いします。

3 Aさんの就学を控えた支援 ～多機関連携について～

- Aさんは、保育園と児童発達支援事業を継続し、最近では保育所等訪問支援事業を利用しています。来年度、区内の小学校に入学します。
- Aさんの発達はややかで、保育園や児発事業所は、就学相談を勧める予定です。
- Aさん父母は日本語理解が十分とは言えず、申請書作成時はサポートが必要です。
- 児発担当者は、Aさん父母が就学に向けた準備ができるのかどうか、Aさん自身が学校生活を安心して過ごせるのか気がかりです。保育園担当者も同じように心配していることがわかりました。

質問 2

- ・ 今後、発達に関する課題により集団生活のしづらさが予測される事例について、外国にルーツのある父母が安心して子どもを育てていくためには、どのような仕組みがあればよいと思いますか。
- ・ 工夫した事例や対応に苦慮した事例を出しながら、「このような仕組みがあればよい」「このようなものがあるとよい」などの意見交換をお願いします。

発表の準備をお願いします。
各グループ、5分程度をお願いします。

就学前グループからお願いします。